

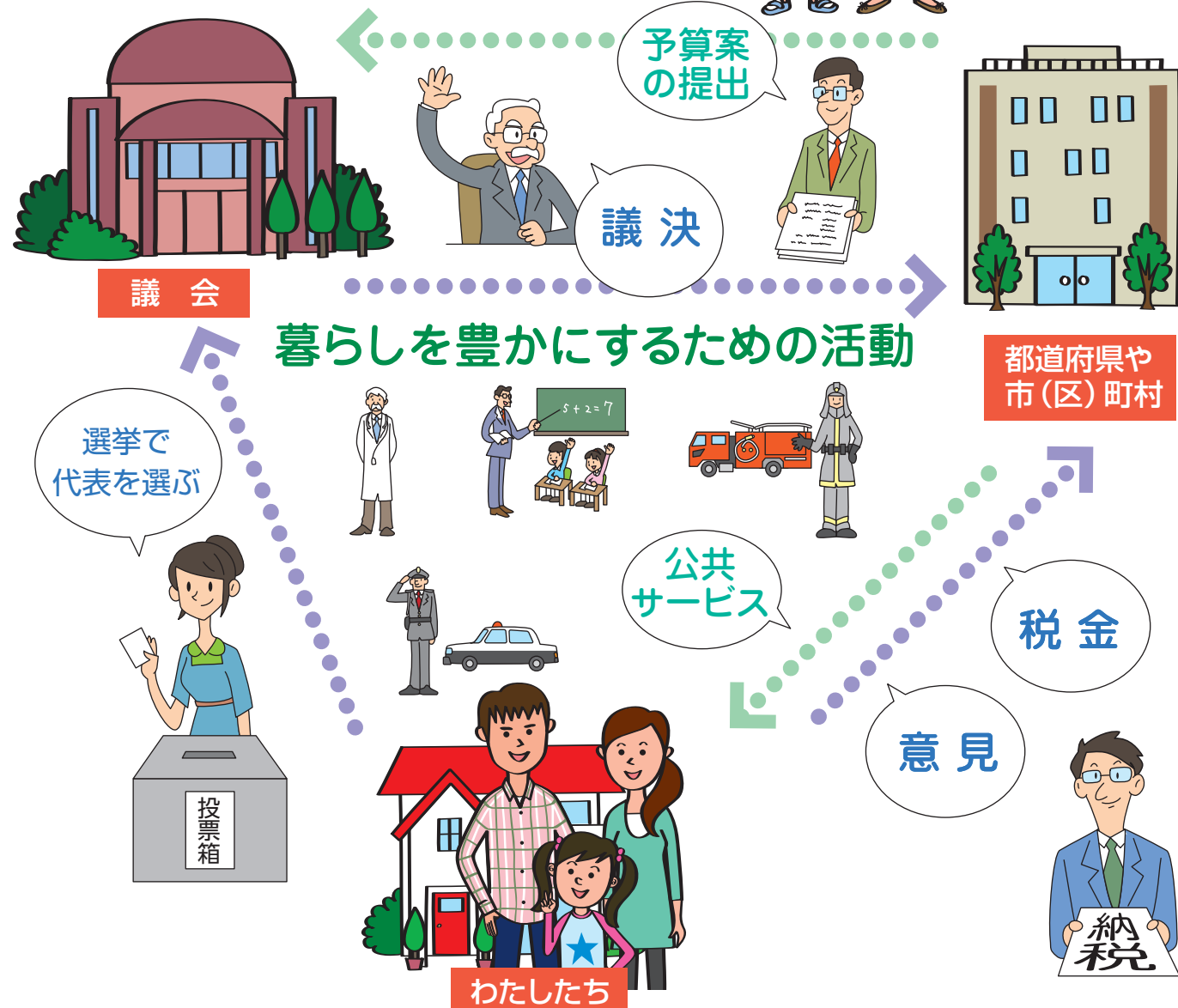
税金の使い方はどうやって決めているの？

国や県、市町村は、学校・警察・消防・福祉など、わたしたちが安全で快適に生活するために欠かせない活動（仕事）をしています。その活動（仕事）には、みなさんが納めた税金が使われています。

税金の使い方は、みなさんの意見などから作られた予算案をもとに国会や県議会、市町村議会で話し合わせられ議決（決定）されます。



議会の様子（提供：衆議院）



税金はどのように使われているの？

わたしたちが平等に教育を受けられるために

国民すべてが平等に教育を受けられるように、学校を作ったり、教科書を配ったりしています。

国の予算のうち、年間約5兆4千億円が教育や科学技術のために使われています。



公立学校の児童・生徒一人あたりの年間(月)教育費 (平成23年度)

小学生	中学生	高校生
850,000円 (71,000円)	985,000円 (82,000円)	997,000円 (83,000円)

学校を作るのにはいくらくらいかかるの？

校舎や体育館の建設のために1年間に約1,293億円が使われています。(平成25年度)



小学校の建設費用は標準的なもので1校あたり約13億円。1万円札を積み重ねると高さ13mに相当します。

どんなものに税金が使われているの？



義務教育の学校の児童・生徒が使う教科書のために1年間に約412億円が使われています。(平成25年度)

机やいすは大事に使わなくちゃね。

勉強もしっかりしなきゃ、ちょっと反省…

教育にはたくさんの税金が使われているのよ。